

～データを活かした健康づくりの施策展開へ～

健康長寿県に向けて

「健康しが」の挑戦!!

滋賀県健康医療福祉部

理事 角野文彦

滋賀県におけるデータ分析等一覧

健康寿命の延伸

滋賀県衛生科学センター

- 滋賀県健康づくり支援資料集
(健康・医療・介護等に関する健康寿命に関連するデータを市町と共有)
 - ★県庁内、各種計画評価のための調査結果
 - ★国民健康・栄養調査 (毎年・拡大)
 - ★国民生活基礎調査
 - ★介護保険事業状況調査
 - ★国勢調査
 - ★がん登録情報
 - ★死因統計解析 等

(R5～ データ項目の検討)

※R5は滋賀医大へ委託

データ活用事業プロジェクト会議

県医療保険課 <滋賀県保険者協議会>

- 医療費適正化計画
- データヘルス計画 (支援資料集)
KDB, NDBデータ活用

<保険者協議会>

- 健診等データ分析結果報告書

(県内35保険者より健診結果を提供。居住地情報を有するデータでは各市町標準化該当比により項目ごとにマップ化)

- 医療費等状況報告書
(NDBデータをもとに県在住者の医療費を把握し分析：県外保険者情報も含まれる)

滋賀県保険者協議会
・ 滋賀県保険者協議会窓口会議
・ 企画運営部会
・ 保健活動部会

各保険者 (国保、全ての健康保険組合)

- データヘルス計画
KDB等データ活用
(レセプト、健診結果などのデータ分析に基づきPDCA サイクルで効果的かつ効率的に保健事業へ取り組む事業計画)

滋賀県国民健康保険 団体連合会

- 健康施策立案のための基礎資料集
KDBデータ活用
(共同電算処理により県内全市町の国保、後期高齢者医療分の医療費データを基に作成)

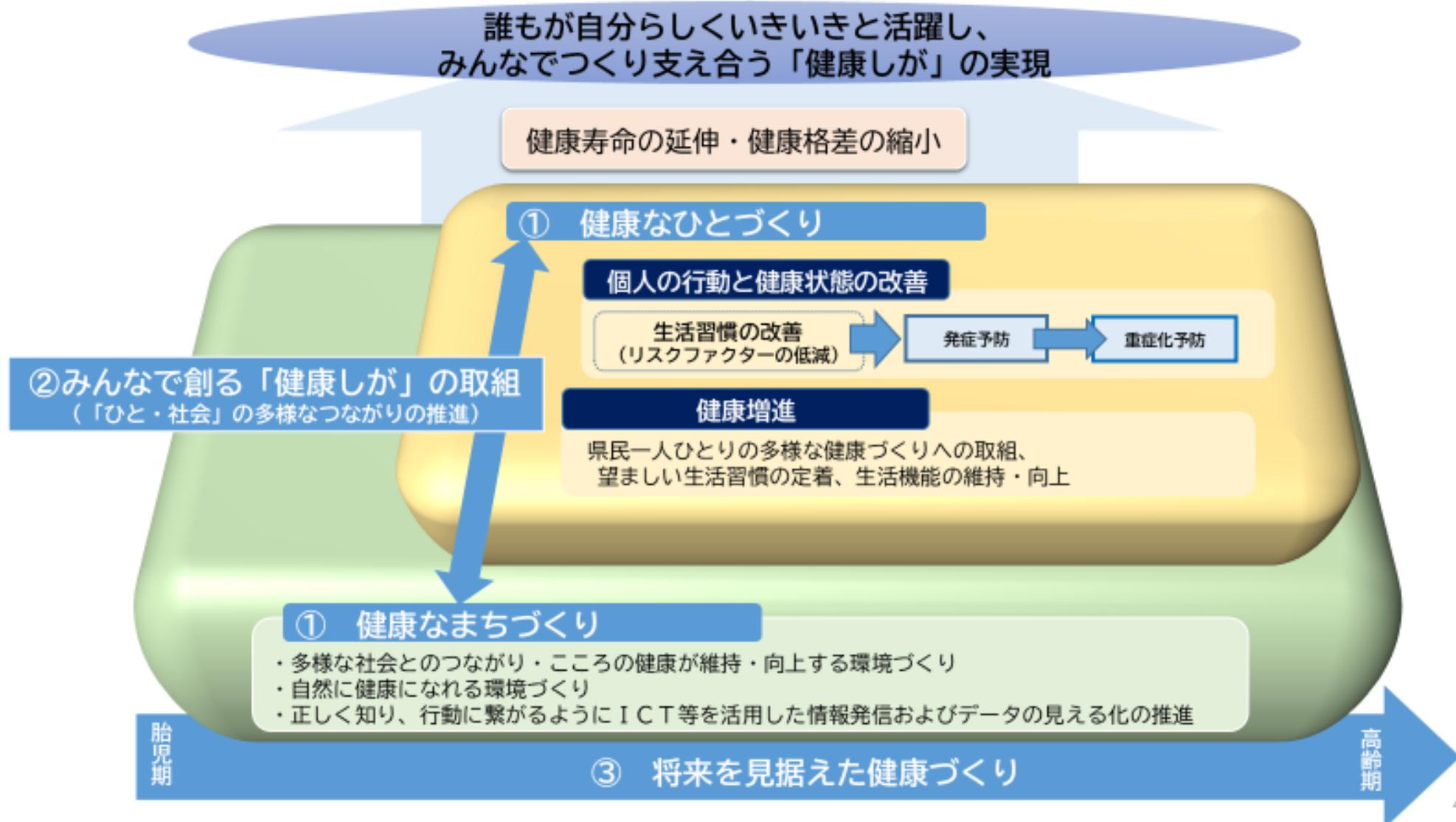
今までは…

- 「健康寿命の延伸」を目指して、それぞれの目的に応じた“健康データ”を中心に集計し、**評価のためにデータ分析**を行ってきた。
- 「なぜ、長寿県になったのか？」**要因分析**も実施してきた。

目的

健康寿命の延伸に関わる要因を明確にし、そこで得た知見を今後の県、市町における施策に反映させる

「健康いきいき21-健康しが推進プラン-(第3次)」



健康格差の縮小

縮む地域社会の中で（人口減少、地域経済の減速、健康づくりの担い手・予算の減少等）、
“健康長寿県”に向けてオール滋賀で取り組むためには

健康・医療・介護等に関するデータ、**経済状況や社会環境等に関するデータ**を**一体的に分析**し、健康寿命の延伸に影響を及ぼす**阻害因子**や**促進因子**を**広く公表**することにより、県民の健康寿命の延伸を図るための施策を展開し、**さらなる県民の健康寿命の延伸を図る。**

- “地域特性”を**経年変化**から明らかに
- **社会的背景**を踏まえて

**今から何に取り組むべきかを
明らかにしていく**